

取扱いの趣旨

切創は、通常、皮膚欠損や皮膚潰瘍を伴わないものであり、皮膚欠損用創傷被覆材の使用が必要と考えられないことから、切創に対する当該被覆材は、原則として認められない。

支払基金が公表している取扱いの全文

【手術】 《令和2年7月27日》

28 切創に対する皮膚欠損用創傷被覆材の算定について

○ 取扱い

切創に対する皮膚欠損用創傷被覆材の算定は、原則として認められない。

○ 取扱いを作成した根拠等

皮膚は、表皮・真皮・皮下組織（脂肪等）に大別され、物理的な皮膚の損傷が表皮・真皮内のものを「傷」といい、その下の皮下組織や筋肉などにまで達した傷を「創」という。

創傷は、開放性損傷と非開放性損傷を意味するものであり、創傷の形態に基づき切創、割創、刺創、挫創、裂創等に分類される。

切創は、刃器、ガラス片などがその長軸方向に、体表を切線状に移動することにより組織が離断された創をいい、一般に創口は長く、創縁は整い、線状に走り、表皮剥脱はないか、あっても少ない。創角は両端とも尖鋭、創面は平滑で、組織挫滅はほとんどないとされている。（南山堂医学大辞典より）

切創の治療は、医療用テープでの創の密着、糸による創縫合、医療用ホチキスでの創閉鎖等の処置を行うが、受傷後長時間が経過した場合は、感染をおこすため、洗浄や消毒によって創の清浄化を図った後、縫合閉鎖を行う。

皮膚欠損用創傷被覆材は、厚生労働省通知「特定保険医療材料の定義について」において、「真皮以上の深度を有する皮膚欠損部位に対して、創傷治癒の促進、創傷面保護及び疼痛軽減を目的として使用するものであること」と定義されている。

皮膚欠損は、皮膚の一部が欠けてなくなった状態であり、皮膚潰瘍は、何らかの原因によって皮膚に穴（潰瘍）ができることである。

以上のことから、切創は通常皮膚欠損や皮膚潰瘍を伴わないものであり、治療に当たって皮膚欠損用創傷被覆材の使用が必要とは考えられないことから、原則として認められないと判断した。

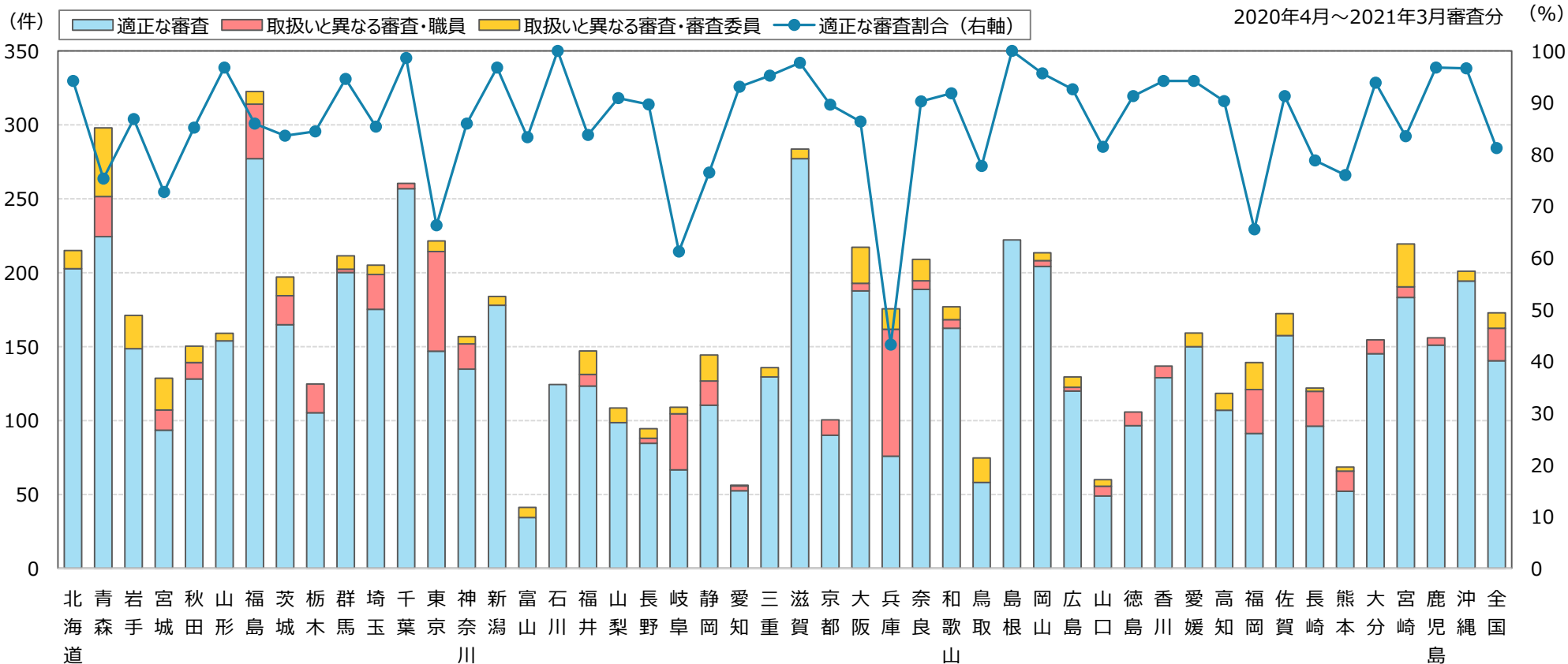
グラフの見方

1 棒グラフ（該当レセプトの審査結果）

皮膚欠損用創傷被覆材を算定しているレセプト1万件当たり、条件（切創に対して皮膚欠損用創傷被覆材を算定）に該当するレセプト件数

2 折れ線グラフ

検証の結果、適正な審査をしている割合（全国 81.22%）



該当件数	242	77	38	66	27	31	114	110	45	93	226	295	798	221	62	12	28	37	11	29	49	115	87	42	87	77	756	393	72	61	9	28	162	149	27	23	52	52	31	261	46	52	25	49	91	62	60	5,480
適正な審査件数	228	58	33	48	23	30	98	92	38	88	193	291	529	190	60	10	28	31	10	26	30	88	81	40	85	69	653	170	65	56	7	28	155	138	22	21	49	49	28	171	42	41	19	46	76	60	58	4,451

【該当件数】 切創に対して皮膚欠損用創傷被覆材を算定しているレセプト件数

検証結果及び対応状況

検証観点	特に検証を要する支部	備考
①査定・返戻割合が低い支部	滋賀、兵庫、東京、岐阜、福岡、宮城、山口	査定・返戻割合の低い順
②請求どおり・職員	滋賀、東京、兵庫、福島、岐阜、福岡、埼玉	対象1万件当たり件数の多い順
③請求どおり・審査委員	青森、宮崎、北海道、千葉、愛媛、大阪、新潟	〃

○特に検証を要する支部の評価及び対応状況

①査定・返戻割合が低い支部

【適正な審査割合：100%未済】

- 滋賀、兵庫、東京、岐阜、福岡、宮城、山口

②請求どおり・職員が多い支部

【取扱いと異なる審査：なし（適正な審査）】

- 滋賀

【取扱いと異なる審査：あり】

- 東京、兵庫、福島、岐阜、福岡、埼玉

③請求どおり・審査委員が多い支部

【取扱いと異なる審査：なし（適正な審査）】

- 千葉

【取扱いと異なる審査：あり】

- 青森、宮崎、北海道、愛媛、大阪、新潟

■ ①から③を通して、適正な審査と判断した主な理由

請求どおりと判断したレセプトの多くは、傷病名や症状詳記から皮膚欠損又は創部が皮下組織まで達している患者に対する皮膚欠損用創傷被覆材の使用であり、適正な審査と判断したもの ⇒対応なし

：職員及び審査委員の認識誤り（取扱いの失念、不知等）

⇒上司の教育及び審査委員長から連絡・再周知により是正

：職員の認識誤り（取扱いの失念、誤解等によるCCの解除）

⇒上司の教育により是正

：審査委員の認識誤り（取扱いの不知等により医学的判断を誤ったもの）

⇒審査委員長から連絡・再周知により是正

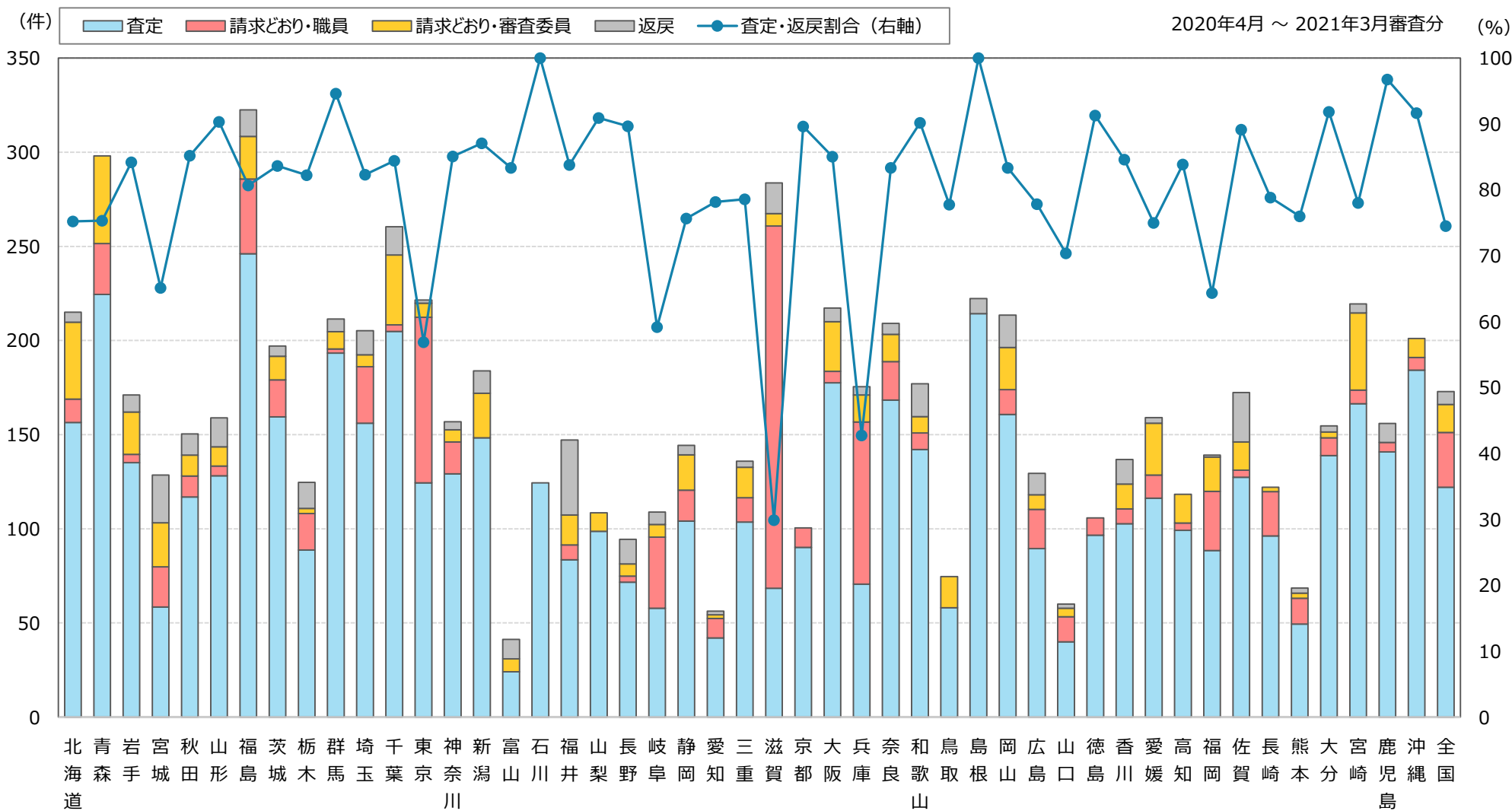
該当件数に対する検証結果

検証の結果、該当件数5,480件のうち、**4,451件（81.22%）**が適正な審査結果（検証前は74.53%）
CCの解除等による誤処理が1,029件（18.78%）

⇒概評：請求どおり（1,396件）を検証の結果、適正審査と確認されたレセプトは、傷病名や症状詳記等から、皮膚欠損を伴う患者に対して、皮膚欠損用創傷被覆材を必要とした事例であった。

支部	検証結果										
	該当件数 計	取扱いに基づく適正な審査					取扱いと異なる審査 (CC解除等の誤処理)				
		適正 審査 合計	適正審査 の割合	査定・返戻		請求どおり	取扱いの 認識誤り 合計	取扱いの 認識誤り の割合	職員	審査委員	
			査定	返戻	査定 返戻 計	詳記等から 適正					
01 北海道	242	228	94.21%	176	6	182	46	14	5.79%	0	14
02 青森	77	58	75.32%	58	0	58	0	19	24.68%	7	12
03 岩手	38	33	86.84%	30	2	32	1	5	13.16%	0	5
04 宮城	66	48	72.73%	30	13	43	5	18	27.27%	7	11
05 秋田	27	23	85.19%	21	2	23	0	4	14.81%	2	2
06 山形	31	30	96.77%	25	3	28	2	1	3.23%	0	1
07 福島	114	98	85.96%	87	5	92	6	16	14.04%	13	3
08 茨城	110	92	83.64%	89	3	92	0	18	16.36%	11	7
09 栃木	45	38	84.44%	32	5	37	1	7	15.56%	7	0
10 群馬	93	88	94.62%	85	3	88	0	5	5.38%	1	4
11 埼玉	226	193	85.40%	172	14	186	7	33	14.60%	26	7
12 千葉	295	291	98.64%	232	17	249	42	4	1.36%	4	0
13 東京	798	529	66.29%	448	6	454	75	269	33.71%	243	26
14 神奈川	221	190	85.97%	182	6	188	2	31	14.03%	24	7
15 新潟	62	60	96.77%	50	4	54	6	2	3.23%	0	2
16 富山	12	10	83.33%	7	3	10	0	2	16.67%	0	2
17 石川	28	28	100.00%	28	0	28	0	0	0.00%	0	0
18 福井	37	31	83.78%	21	10	31	0	6	16.22%	2	4
19 山梨	11	10	90.91%	10	0	10	0	1	9.09%	0	1
20 長野	29	26	89.66%	22	4	26	0	3	10.34%	1	2
21 岐阜	49	30	61.22%	26	3	29	1	19	38.78%	17	2
22 静岡	115	88	76.52%	83	4	87	1	27	23.48%	13	14
23 愛知	87	81	93.10%	65	3	68	13	6	6.90%	5	1
24 三重	42	40	95.24%	32	1	33	7	2	4.76%	0	2

支部	検証結果										
	該当件数 計	取扱いに基づく適正な審査					取扱いと異なる審査 (CC解除等の誤処理)				
		適正 審査 合計	適正審査 の割合	査定・返戻		請求どおり	取扱いの 認識誤り 合計	取扱いの 認識誤り の割合	職員	審査委員	
			査定	返戻	査定 返戻 計	詳記等から 適正					
25 滋賀	87	85	97.70%	21	5	26	59	2	2.30%	0	2
26 京都	77	69	89.61%	69	0	69	0	8	10.39%	8	0
27 大阪	756	653	86.38%	618	25	643	10	103	13.62%	18	85
28 兵庫	393	170	43.26%	158	10	168	2	223	56.74%	192	31
29 奈良	72	65	90.28%	58	2	60	5	7	9.72%	2	5
30 和歌山	61	56	91.80%	49	6	55	1	5	8.20%	2	3
31 鳥取	9	7	77.78%	7	0	7	0	2	22.22%	0	2
32 島根	28	28	100.00%	27	1	28	0	0	0.00%	0	0
33 岡山	162	155	95.68%	122	13	135	20	7	4.32%	3	4
34 広島	149	138	92.62%	103	13	116	22	11	7.38%	3	8
35 山口	27	22	81.48%	18	1	19	3	5	18.52%	3	2
36 徳島	23	21	91.30%	21	0	21	0	2	8.70%	2	0
37 香川	52	49	94.23%	39	5	44	5	3	5.77%	3	0
38 愛媛	52	49	94.23%	38	1	39	10	3	5.77%	0	3
39 高知	31	28	90.32%	26	0	26	2	3	9.68%	0	3
40 福岡	261	171	65.52%	166	2	168	3	90	34.48%	56	34
41 佐賀	46	42	91.30%	34	7	41	1	4	8.70%	0	4
42 長崎	52	41	78.85%	41	0	41	0	11	21.15%	10	1
43 熊本	25	19	76.00%	18	1	19	0	6	24.00%	5	1
44 大分	49	46	93.88%	44	1	45	1	3	6.12%	3	0
45 宮崎	91	76	83.52%	69	2	71	5	15	16.48%	3	12
46 鹿児島	62	60	96.77%	56	4	60	0	2	3.23%	2	0
47 沖縄	60	58	96.67%	55	0	55	3	2	3.33%	0	2
全国	5,480	4,451	81.22%	3,868	216	4,084	367	1,029	18.78%	698	331



都道府県	該当件数	請求どおり件数
北海道	242	60
青森県	77	19
岩手県	38	6
宮城県	66	23
秋田県	27	4
山形県	31	3
福島県	114	22
茨城県	110	18
栃木県	45	8
群馬県	93	5
埼玉県	226	40
千葉県	295	46
東京都	798	344
神奈川県	221	33
新潟県	62	8
富山県	12	2
石川県	28	0
福井県	37	6
山梨県	11	1
長野県	29	3
岐阜県	49	20
静岡県	115	28
愛知県	87	19
三重県	42	9
滋賀県	87	61
京都府	77	8
大阪府	756	113
兵庫県	393	225
奈良県	72	12
和歌山県	61	6
鳥取県	9	2
島根県	28	0
岡山県	162	27
広島県	149	33
山口県	27	8
徳島県	23	2
香川県	52	8
愛媛県	52	13
高知県	31	5
福岡県	261	93
佐賀県	46	5
長崎県	52	11
熊本県	25	6
大分県	49	4
宮崎県	91	20
鹿児島県	62	2
沖縄県	60	5
全国	5,480	1,396

【該当件数】切創に対して皮膚欠損用創傷被覆材を算定しているレセプト件数